

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年2月12日 (2009.2.12)

【公表番号】特表2008-523920(P2008-523920A)

【公表日】平成20年7月10日 (2008.7.10)

【年通号数】公開・登録公報2008-027

【出願番号】特願2007-546964(P2007-546964)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

A 6 1 B 6/12 (2006.01)

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/00 3 5 0 P

A 6 1 B 6/12

A 6 1 B 6/00 3 3 5

A 6 1 B 6/03 3 6 0 G

A 6 1 B 6/03 3 7 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成20年12月16日 (2008.12.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

4 D イメージングを用いて患者の心不全を処置するシステムであって、  
心電図 ( E C G ) ゲート化プロトコルを利用して心臓デジタルデータを得る医用イメージングシステムと、

前記心臓デジタルデータから心周期の様々な位相に対応する選択 E C G トリガ点において心腔及び周辺構造の一連の 3 次元 ( 3 D ) 画像を作成する画像作成システムと、

前記患者から E C G 信号をリアルタイムで取得すると共に、該 E C G 信号をインターベンションシステムへ送信する E C G モニタと、

前記 3 D 画像を前記インターベンションシステムに登録すると共に、該登録された 3 D 画像を前記送信された E C G 信号上のトリガ点と同期させて、前記インターベンションシステム上にリアルタイムで視覚化される 4 D 画像を作成するワークステーションと、

前記心腔上の選択位置に配置されるペーシング / ディフィブリレーションリード線であって、それによって、前記インターベンションシステム上の前記 4 D 画像の上に視覚化される、ペーシング / ディフィブリレーションリード線と  
を備える、システム。

【請求項 2】

前記画像作成システムは、左室及び冠状静脈洞の 3 D イメージングに最適化されたプロトコルを利用して前記心臓デジタルデータから前記 3 D 画像を作成する、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記ワークステーションは、前記送信された E C G 信号上の前記トリガ点に対する前記登録された 3 D 画像の同期をインターベンション処置中に継続的に更新及び調節する、請求項 1 に記載のシステム。